

【港北区】平成31年第1回区づくり推進横浜市議会議員会議 議事録

開催日時	平成31年2月4日（月） 11時00分 ～ 12時00分
場 所	港北区役所4階 特別会議室
出席者	<p>【出席議員：8名】佐藤祐文議員（座長）、酒井誠議員、川口たまえ議員、望月康弘議員、大山しょうじ議員、酒井亮介議員、白井正子議員、豊田有希議員</p> <p>【港北区：28名】栗田区長、林副区長、高野福祉保健センター長、武井福祉保健センター担当部長、中田土木事務所長</p> <p align="right">ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 平成31年度個性ある区づくり推進費予算（案）について</p> <p>2 その他</p>
発言の要旨	<p>1 31年度個性ある区づくり推進費予算（案）について</p> <p>2 その他 （資料説明・・・区長、副区長）</p> <p>酒井（亮）議員： 地域子育てサポート事業で、今回「ほめ方、しかり方のコツ」で予算・定員を増やしているようだが、背景・意図があれば教えてほしい。</p> <p>横森こども家庭支援課長： 30年度から始めた事業だが、駄々をこねる、お子さんの扱いを、どうしたらよいか分からないという親御さんが結構多く参加され、好評である。1コース10人程度の定員に対し、申し込みが2倍以上のコースもあり、31年度はこのコースの定員の拡充を考えている。</p> <p>酒井（亮）議員： 区内保育所施設PR事業で60万円広告費の増加ということだが、単純にポスターの増刷ということか。</p>

中田学校連携・こども担当課長：

ポスターをもう少しインパクトのあるものにする、インターネットを使ってみんなに見ていただくようなページをつくるなど、効果的な形で、潜在保育士の方々に情報が届き、就労につなげていただけるように考えている。

望月議員：

樽町地域ケアプラザの綱島地区の分室は、どの辺に設置する予定か。

栗田区長：

候補地を選定してこれから決める。

望月議員：

実施結果検証等を踏まえてということか。

栗田区長：

未整備地区がある中でということなので、一応試行ということになっているが、港北区としては当然続けていきたい。

大山議員：

今の綱島の分室の話だが、いつぐらいにオープンさせたいのか。

栗田区長：

早ければ年度初めから始めたいが、行先の場所によって少しずれるかもしれない。

大山議員：

港北区制 80 周年記念事業について、区制 80 周年のイベントを全部並べてもらえないか。そのうち予算がついているものや、一方で冠だけ付いているというものもあるのではないか。

林副区長：

一覧で整理してお渡しする。冠が付いているものが多いと思う。

大山議員：

冠が付いたら予算が付くという期待もあるかもしれない。難しいのはわかるが。

栗田区長：

内容によるが、観梅会のようにしっかりやっ払いこうと予算を増やしたりしているものもある。

大山議員：

日吉の美化推進重点地区で、控え目な看板があるが、放置自転車対策の横断幕は綱島街道で大々的に行われているので、何かもう少しアピールする術はないのか。

林副区長：

花壇の手入れをして頂いている方なども含めて相談していく。

白井議員：

スクールゾーンの路面標示について、30年度分はすでに終わっているのか。

小野地域振興課長：

今執行しているところである。ご要望いただいているところは基本的にはすべての箇所に対応している。

白井議員：

これからも路面標示は、年度末にかけて行われるのか。

加藤土木事務所副所長：

工期としては3月まで確保しているので、今年度要望いただいて調整のついた部分については、今年度中に終わらせるかたちで進めている。要望が漏れてしまっているような箇所については、来年度になる可能性がある。

白井議員：

高齢者免許返納促進の事業について、家族が困っているという話をよく聞くので、とても良いきっかけになると思うが、新規なので説明してもらいたい。

小野地域振興課長：

高齢者の免許返納数は、近年増えてきていたが、昨年度は少し減っており、何かメリットのようなものが欲しいと考え、今商店街の皆さんと進めていこうとしているところである。

白井議員：

ラグビーワールドカップ、それから東京オリンピックの開催に伴い、横浜線の各駅のホームにお客様が集中することが想定されるが、ホームドアの設置がまだ JR として遅れている。何らかの安全対策を進めるような協議は行っているのか。

山本区政推進課長：

横浜線のホームドアについては、ラグビーワールドカップやオリンピックまでには設置されることはないと聞いている。安全対策については、都市整備局や市民局などと交通輸送をどう回していくか、一緒に議論が必要だと考える。

豊田議員：

樽町地域ケアプラザの分室設置について、良いトライができていると思うが、綱島そして次に大豆戸が過大規模エリアとなっており、この2か所はしっかり主張し対策してもらいたい。これらのエリアに関するケアプラザ配置についての区の今の考え方、今後の方針について伺いたい。

栗田区長：

人口が過大規模になってしまっているというのは、港北区の大きな課題だと考えている。健康福祉局には、分室を作りたいということと、未整備地区も残りがわずかと見えているので、次の考え方の方針を出してほしいという2点を求め、最終的に予算が付くことになった。なぜ綱島エリアだけなのかというと、綱島は大豆戸に比べて相談件数がおよそ倍であるということがある。しかし、大豆戸の対象エリアは非常に広いので、分室の必要性は意識している。局が次に考える方針に合わせて、区としても今後大豆戸も含めてどうするかということは整理したい。

豊田議員：

綱島がモデル事業2年間となっているが、問い合わせ件数が増えるということであれば、大豆戸においても検討を進めてもらいたいし、綱島もより持続性のある固定した事業となるよう働きかけてほしい。

もう一点、次年度の予算案に認知症の早期発見のモデル事業があるが、港北区としてこの事業への参加についてどう考えているか。

武井福祉保健センター担当部長：

モデル事業については、今時点でまだ局のほうから具体的な話がないので、確認したい。

豊田議員：

現状どの場所でやるかは決まっていないとのことなので、ぜひ港北区でこのモデル事業を実施していただきたい。(意見)

川口議員：

赤ちゃん会の人数について、利用者が減っている原因をどう考えているか。また、児童虐待防止対策において、健診未受診者などに対してどのような対応をしているのかについて伺いたい。

横森こども家庭支援課長：

赤ちゃん会の参加人数の減少については、母親が早期に育児休暇を切り

上げて仕事に戻るケースなど、継続的に参加する方が減っている実感がある。しかし、参加率は 29 年度 43.2%から 30 年度見込みで 48.8%と増えており、今年度は、回数を 8 回から 10 回に増やした効果があったとみている。

それから児童虐待防止対策について、健診は 98%近く受診していただいている。健診未受診の方には、市全体の取組として、必ず電話掛けをし、電話が通じなかった場合には家等を訪問し安否確認をしている。それでも繋がらない場合は、要保護児童対策協議会に必要な応じて情報提供し見守を行っている。

川口議員：

健診の未受診率が 2%くらいなのであれば、電話対応ではなく、もう少し丁寧にこの 2%を取り組んでいただけたらありがたい。(要望)

酒井(誠)議員：

今回樽町ケアプラザの分室や熱中症対策としての暫定空調など、工夫してやっていただくことに感謝するとともに、今後ともよろしく願いたい。

佐藤議員：

区民まつりが 6 月 1 日で 80 周年の記念式典も同日に実施という位置づけになっているが、仮に天候が不順だった場合の方針を早めに明確にしてもらいたい。

栗田区長：

雨天の場合は、港北公会堂で 80 周年の記念式典やふれあいまつりの出し物を実施する。テントでの販売などは、現在、出店者の皆様に雨天時の意向を取っている。

佐藤議員：

ラグビーワールドカップに向けて、新横浜のペDESTリアンデッキにカウントダウンボードがあるが、ラグビーが終わったらすぐにオリンピックに切り替えるなど、準備を怠らずにしっかりやっていただきたい。

備 考